|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト名 | 知床しゃりブランド創造による地域げんきプロジェクト |
| 実施主体（市町村） | 斜里町 |
| 支援期間 | 平成２１年度～平成２３年度 |
| 格差の分野 | 地域経済の格差 |

**課題・問題点**

・町内事業者への支援について

|  |
| --- |
| 町内事業者の新分野への起業や新商品の開発研究などへの取組みは進んできているが、依然として町内経済は停滞していることから、継続した支援が必要。 |

・ブランドの認知度について

|  |
| --- |
| 「知床しゃりブランド」は少しずつ町民に浸透してきているが、町外における認知度がまだまだ低い。 |

・観光客誘致について

|  |
| --- |
| 楽市楽座事業（知床特産品のＰＲし地場産品の普及促進や地産地消を促進）については、日曜日開催であることから、観光客の誘致に至っていない。 |

**課題解決に向けた取組**

・町内事業者への支援について

|  |
| --- |
| より多くの事業者に補助事業を活用してもらうため、町広報はもちろん効果的な周知方法が必要である。 |

・ブランドの認知度について

|  |
| --- |
| 継続的な新たなＰＲ活動の検討が必要。 |

・観光客誘致について

|  |
| --- |
| 開催曜日の変更を含め、観光客誘致につながる事業の構築を検討。 |

**その他特記事項**

・アドバイザーからの助言などについて

|  |
| --- |
| ・ブランド認証制度はマーケティング評価の手法に位置づけられている部分もあるので、マーケティング評価も研究すべき。ブランド認知度は町内ではあって然るべきで、どの地域で勝負するのか等の展望がないと発展させていくのは難しいのではないか。  ・世界遺産という大きな観光資源と結びつけるような形で全国に発信していくような取組みを期待する。 |